

ご 挨拶



会長 永井 健利

今年の冬は積雪に恵まれて、県体スキー競技会、中国中学スキー選手権大会等、全ての行事が無事大きな成果を上げて終わり、特に「あきた鹿角国体スキー競技会」では、特別応援団多数参加のもと、大山、大林、関谷三選手の入賞、山口県選手団の活躍に深い感銘を受けました。また、第三十回全日本選抜ローラースキー羅漢山大会が、一ヶ月前倒しの七月末、本郷町夏祭りと共に記念大会として開催、地元本郷中学校挙げての参加応援と、小学生、シニア選手の参加で新たな方向性が生まれた事も有難い事でした。

「おいでませ！山口国体」念願の総合優勝も喜ばしい限りです。

「河村名誉会長、池田会長」共に天国で肩を組み合い祝福されていくことでしょう。

賛山会を立ち上げて五年間、特別強化指定三選手を受け入れて下さいました、朝日鉄工、羅漢友の会を始め各郡市スキー連盟、クラブ関係者の選手強化に対し、物心両面に亘る格段のご援助、ご協力に心より敬意と感謝を申し上げます。

「第六十六回、山口国体」優勝の原動力は、少年男女選手の活躍に尽きると思われます。

私達県連盟も、冬季ジュニアスノースクールを中心に、小、中、高生の参加と、一人でも多くのスキー愛好者の発掘と育成に教育競技各部一体となり、組織を挙げての取り組みを期待すると共に、各クラブ、郡市連盟の一段の御支援とご協力をお願い致します。

来るシーズンも、また積雪に恵まれて、「君の一生けんめいに会いたい」新たな感動の生まれることを祈念し、ご挨拶と致します。